

119番通報のメモ

自宅から
通報する場合



① 落ち着いて119番



 「火事です」

 「救急です」

② 自宅の住所を伝える

大阪市 区 丁目 番 号

_____ (_____) 号室

建物名

③ 状況や症状を伝える

 何が燃えているのか

 誰がどうしたのか

※係員がお聞きしますので、落ち着いて教えてください。



救急安心センターおおさか

開設時間：24時間365日

7119 または、06 - 6582 - 7119



住まいの防火・防災リーフレット

SHOUKAKI

COOL!!

NETABAKO Nooo!

GO!

TAKOASHI KIKEN!!

大阪市消防局
Osaka Municipal Fire Department



クロスワード・パズルに挑戦しよう!

リーフレット内にヒントがあります

1		2			
A					
		3		F	
					8
5		4		7	
D				E	
6	B				
			9	C	
	A	B	C	D	E

タテのかぎ

- 住宅用火災警報器を点検するときは、ボタンを押すか〇〇を引っ張りましょう
- 熱中症予防のため、こまめに〇〇〇〇や塩分を補給しましょう
- エアコンなどを利用して室内を〇〇〇〇に保ちましょう
- 救命サポートアプリは応急手当の〇〇〇〇を映像で見ることができるアプリ
- 自宅からの119番通報の手順②は、自宅の〇〇〇〇を伝える
- 大阪市消防局では様々な応急手当の〇〇〇〇〇を実施

ヨコのかぎ

- やけどした場合は、すぐに水をかけて患部を〇〇〇!
- リチウム〇〇〇電池は絶対に普通ごみでは捨てない
- 火災発生時、火が〇〇〇〇〇や壁に広がる状況になれば、消火はやめ、すぐに避難しましょう
- 調理中の鍋から出火した場合は、手前から〇〇〇を押さえるようにふたをする
- 出火中の鍋に直接水をかけて〇〇〇〇するのはNG!



詳細はこちら!

リチウムイオン電池の廃棄方法は？

市内の環境事業センターに設置されたリチウムイオン電池等回収ボックスに入れる

絶対に**普通ごみ**では出さないでください！
ゴミ収集車が燃えることがあります

- リチウムイオン電池は何に使われている？
- ◆モバイルバッテリー
 - ◆加熱式たばこ・電子たばこ
 - ◆スマートフォンやパソコンのバッテリー
 - ◆デジタルカメラ
 - ◆持ち運び用ヘアアイロン など…

CHECK
リチウムイオン電池は衝撃を加えると発火する危険性があります。落下した場合に、膨らみ等があれば使用は控えましょう

調理中の鍋から出火したら？

消火器があれば消火器を使用する

- 消火器がない場合は…
- ◆サイズがぴったり合うふたがあれば、手前から炎を押さえるようにふたをする
 - ◆水が垂れない程度まで絞ったタオルで鍋を覆う
- ※1枚で消えない場合は、濡らしたタオルを複数枚重ねる

鍋に直接水をかけて消火するのは**NG!**
爆発的に火が広がり危険です

CHECK
天ぷら油は温度が高くなると自然に発火します。来客や電話等でその場を離れる場合は、必ず火を止めましょう

住宅用火災警報器が鳴ったら？

火災が発生していないか確認する

- ◆誤作動であれば警報を止める (ボタンを押す または ひもを引っ張る)
- ◆誤作動の場合は次の理由が考えられます
 - ◆たばこや調理中の煙を感知
 - ◆電池切れ、経年劣化 など…

火災発生時に電池切れ等の理由により作動しなかったという事例があります

- ◆定期的に点検しましょう
- ◆【点検方法】機種により異なりますが、ボタンを押す または ひもを引っ張る
- ◆10年で交換しましょう

CHECK
作動した警報器から他の警報器へ連動させて警報を行うものや、CO (一酸化炭素) を検知できるものもあります

消火器の使い方は？

一般的な消火器
①安全ピンを抜く ②ノズルを火元に向ける ③レバーを握る

住宅用消火器
火元から1.5m~2m離れて

消火剤はレバーを握って約15秒間放出します

CHECK
消火器を搬送中に誤って消火剤が放出しないように燃えているものに近づいてから安全ピンを抜きましょう

火が天井や壁などに広がる状況になれば消火はやめ、すぐに避難しましょう

のど詰め

- 予防のポイント
- ◆食事の際はなるべく食材を小さく切り、大量に口の中に入れず、よく噛んで食べる
 - ◆子どもの手の届くところに、口に入るものを置かない

- 応急手当
- ◆咳をすることが可能であれば、咳を続ける
 - ◆意識がある場合は、はいごうだほう背部叩打法を行う
 - ◆意識がない場合は、心肺蘇生法を行う

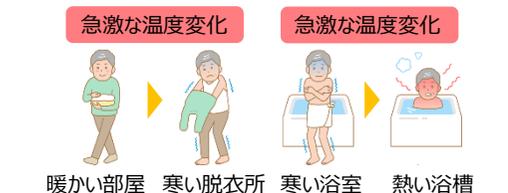
CHECK
応急手当の動画はこちら

入浴事故

- 予防のポイント
- ◆体調が万全でないときや飲酒後は入浴を控える
 - ◆冬はヒーターやシャワーなどで脱衣所や浴室を温めておく
 - ◆小さな子どもからは目を離さない

冬場の浴室で起こりやすいヒートショックとは？

急激な温度の変化によって血圧が大きく変動するなど、身体に大きな負荷がかかることです。失神、不整脈などの症状を引き起こす危険性が高まります。



やけど

- 予防のポイント
- ◆子どもの近くに熱いものを置かないようにする
 - ◆コンロなどの火を使うときは袖の開かない服を着る
 - ◆電気ケトルやアイロンなど高温になる家電のコード類は整理する

- 応急手当
- ◆すぐに水をかけて患部を冷やす (10分~30分ほど)
 - ◆水ぶくれはつぶさずに清潔な布で覆って病院へ行く

熱中症

- 予防のポイント
- ◆こまめに水分や塩分を補給する
 - ◆室内でも我慢せず、エアコンなどを利用して室内を適温に保つ
 - ◆車の中は温度が上昇しやすいので、短時間であっても子どもを車内に残して車から離れることのないようにする

- 応急手当
- ◆保冷材などで、首や脇の下、太ももの付け根を冷やす
 - ◆涼しい場所で安静にし、水分を補給しながら体を冷却する

救命サポートアプリ

いざというときに、簡単な操作で応急手当 (成人・小児・乳児) の方法を映像で見ることができるアプリです。

救命講習のご案内

大阪市消防局では、様々な応急手当の講習を実施しています。詳しくは、二次元コードからご確認ください。

ボジョレーに教わる救命ノート

犬のキャラクター「ボジョレー」が、予防救急や応急手当について教えてくれるホームページです。

応急手当を学べる動画

大阪市消防局公式YouTubeでは、応急手当を学べる動画を公開しています。